

取扱説明書

EA-300

PHONO AMPLIFIER

Phasemation

このたびはフェーズメーション製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書を良くお読みのうえ、正しくお使いください。
本書をお読みになったあとは「保証書」とともに大切に保管してください。

目次

安全上のご注意.....	4
使用上のご注意.....	5
お手入れ.....	5
各部の名称と機能.....	6, 7, 8
接続.....	9
故障とお考えになる前に.....	10
保証とアフターサービスについて.....	11
製品仕様.....	11

安全上のご注意

ご使用前に この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 警告	■ 故障したままの使用はしない	 	<ul style="list-style-type: none"> ● 万一、煙がでている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。
	■ 改造しない		<ul style="list-style-type: none"> ● 本体を分解、改造しないでください。火災の原因になります。
	■ 水のかかるところに置かない	 	<ul style="list-style-type: none"> ● 風呂場では使用しないでください。火災、感電の原因となります。 ● 本機は屋内専用に設計されています。水が入ったり、濡らさないようにご注意ください。故障や火災・感電の原因となります。
	■ 水の入った容器を置かない		<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因になります。
	■ 中に物を入れない		<ul style="list-style-type: none"> ● 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まずアンプの電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

 注意	■ 設置上の注意		<ul style="list-style-type: none"> ● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして怪我の原因となることがあります。 ● コードの配線に注意してください。コードを足に引っかけると転倒したり、倒れて危険です。 ● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	■ 次のような場所に置かない		<ul style="list-style-type: none"> ● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
	■ 接続について		<ul style="list-style-type: none"> ● 本機を他のオーディオ機器やテレビ等の機器と接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。

使用上のご注意

設置場所 セットを長くご使用いただくために、次のような場所には設置しないでください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所。
- 風通しが悪く、湿気やホコリの多い場所。
- 振動や傾斜のある不安定な場所。
- 窓ぎわで、雨などがかかるおそれのある場所。
- その他、特に湿気の高いところ。
- アンプ等の発熱の多いものの上に置いて使用することは避けてください。
- 他の機器の電源トランスやモーターなどから離してください。

ご注意

シャーシ表面からの輻射や、空気対流を妨げるような布をかけたり、密閉空間に設置することは避けてください。

本機では外部音圧の進入を防ぐこと、塵埃の進入を防ぐ目的であえて放熱用の吸排気孔を設けておりません。シャーシ内は対流、セットからの放熱は熱伝導率の高いシャーシからの輻射、空気対流で冷却されます。

ご使用いただく電源電圧・周波数

- 電源電圧は、交流100Vをご使用ください。
- 電源周波数は、50Hz地域、または60Hz地域どちらでも使用できます。

電源ケーブルの取扱い

- 濡れた手で触れないでください。
- 電源ケーブルは、必ずプラグを持って抜いてください。ケーブルを強く引っ張ったり、折り曲げたりしますと、ケーブルが傷み、感電や火災の原因になります。
- 電源ケーブルは付属のものをお使いください。

修理

- セットが故障した場合は、お買い求めの販売店にご相談下さい。

お手入れ

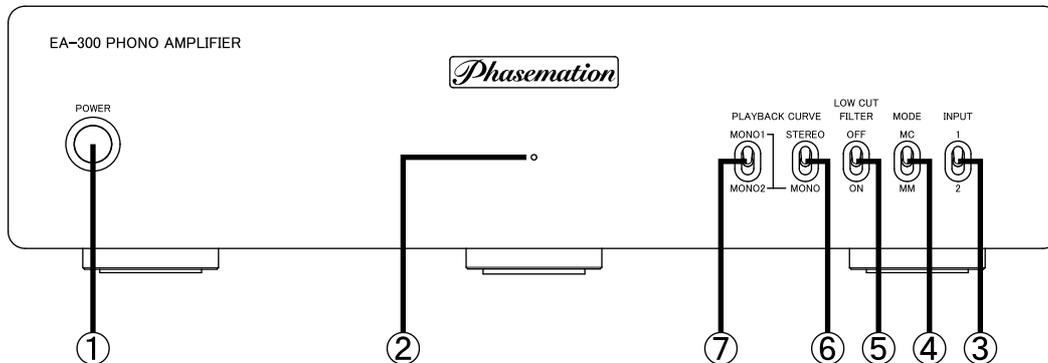
◎セットが汚れたときは柔らかい布で空ぶきしてください。

◎汚れがひどいときは食器用中性洗剤を数倍に薄め、柔らかい布に付け、固く絞って汚れをふき取ってください。次に乾いた柔らかい布で空ぶきしてください。

◎シンナー、ベンジン、アルコールなどの化学薬品は絶対にご使用にならないでください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの化学薬品が付着すると、セットの表面の印刷が剥離したり、光沢が失われることがありますので絶対にご使用にならないでください。

各部の名称と機能

フロントパネル部



① POWERスイッチ

電源をON/OFFするスイッチです。

② POWERインジケータ

電源がONの時に青色に点灯します。

電源がONになった直後は内部回路が安定状態になるまで点滅し、その間は音は出ません。

③ INPUT切替スイッチ

入力端子 INPUT1、INPUT2 を切替えるスイッチです。

④ MODE切替スイッチ

MCカートリッジをお使いの時はMC位置に、MMカートリッジや出力電圧の高い(1.5mV以上) MCカートリッジをお使いの時はMM位置に切り換えて下さい。

MC/MMの切り換え時はノイズが出るため必ず本機の電源スイッチを切るか、接続しているアンプの音量コントロールを絞り切ってから操作して下さい。

⑤ LOW CUT FILTER切替スイッチ

反りの大きいレコードを再生した場合に、音楽信号とは別に不要な超低域信号がフォノアンプに入力され、低域用スピーカーの振動板が前後に大きくゆすられ、スピーカーを損傷したり、音がひずむことがあります。

この場合にこのスイッチをONにすることで、超低域信号を減衰させ上記の現象を軽減することができます。

⑥ PLAYBACK CURVE切換スイッチ STEREO/MONO

- ・ STEREO : ステレオLP再生用 RIAAカーブ
- ・ MONO : モノラルLP再生用 MONO1又はMONO2

ご注意

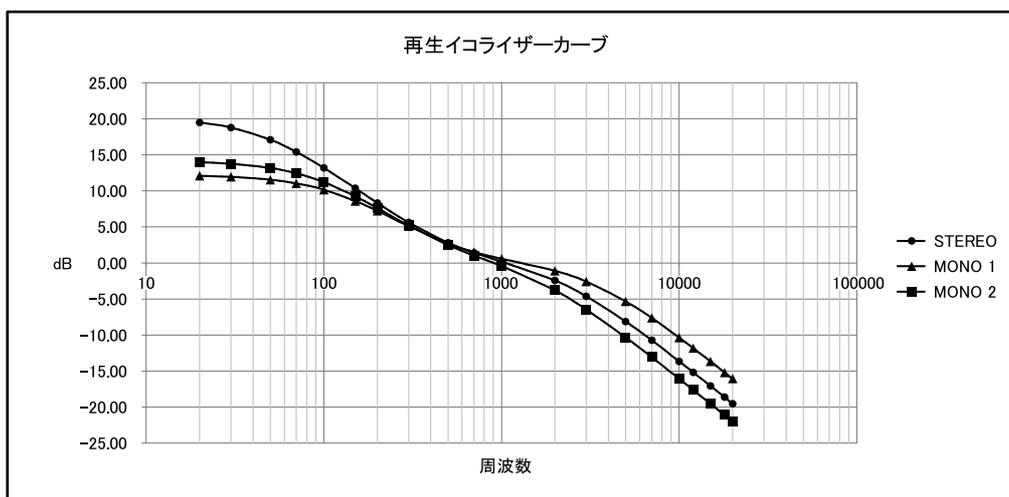
1960年代半ば以前にプレスされたモノラルLPの中には国際統一規格の録音補正RIAAカーブ以外に各レーベル独自の録音補正カーブが使用されている場合があります。本器ではこれに対応するため代表的な録音補正カーブ2種類を搭載しています。

⑦ PLAYBACK CURVE切換スイッチ MONO1/MONO2

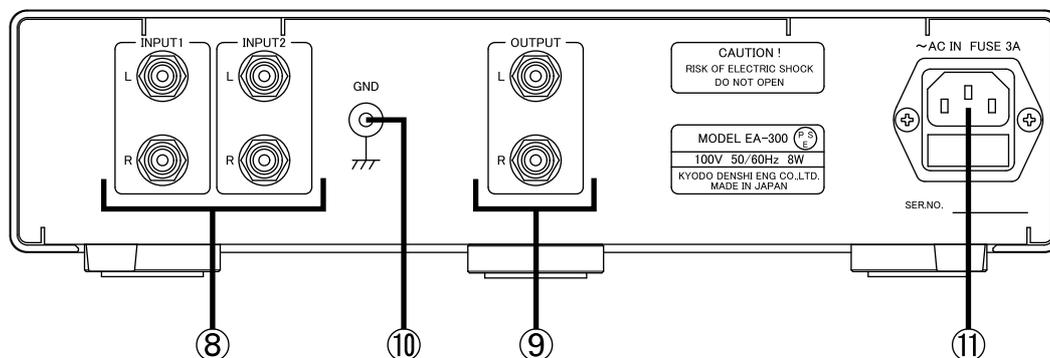
- ・ MONO1 : モノラルLP再生用カーブ (DECCAレーベル等で使用 : FFRR)
- ・ MONO2 : モノラルLP再生用カーブ (Columbiaレーベル等で使用)

再生イコライザーカーブの電気特性

Curve	Turnover/Low limit	Roll off
STEREO	500Hz/50Hz(+20dB)	75 μ s-2120Hz(-13.75dB at 10kHz)
MONO 1	500Hz/125Hz(+12-12.5dB)	50 μ s-3000Hz(-10.5dB at 10kHz)
MONO 2	500Hz/100Hz(+14dB)	100 μ s-1590Hz(-16dB at 10kHz)



リアパネル部



⑧ フォノアンプ入力端子

入力端子はINPUT1、INPUT2の2系統あります。

アナログディスクプレイヤーからの信号線をそれぞれL、Rに接続します。

⑨ フォノアンプ出力端子

プリアンプのAUX端子などのラインレベル(150~250mV)の入力端子に接続します。

ご注意

フォノアンプが入っているプリアンプのフォノ入力端子には接続しないでください。
過大入力となり音がひずみます。

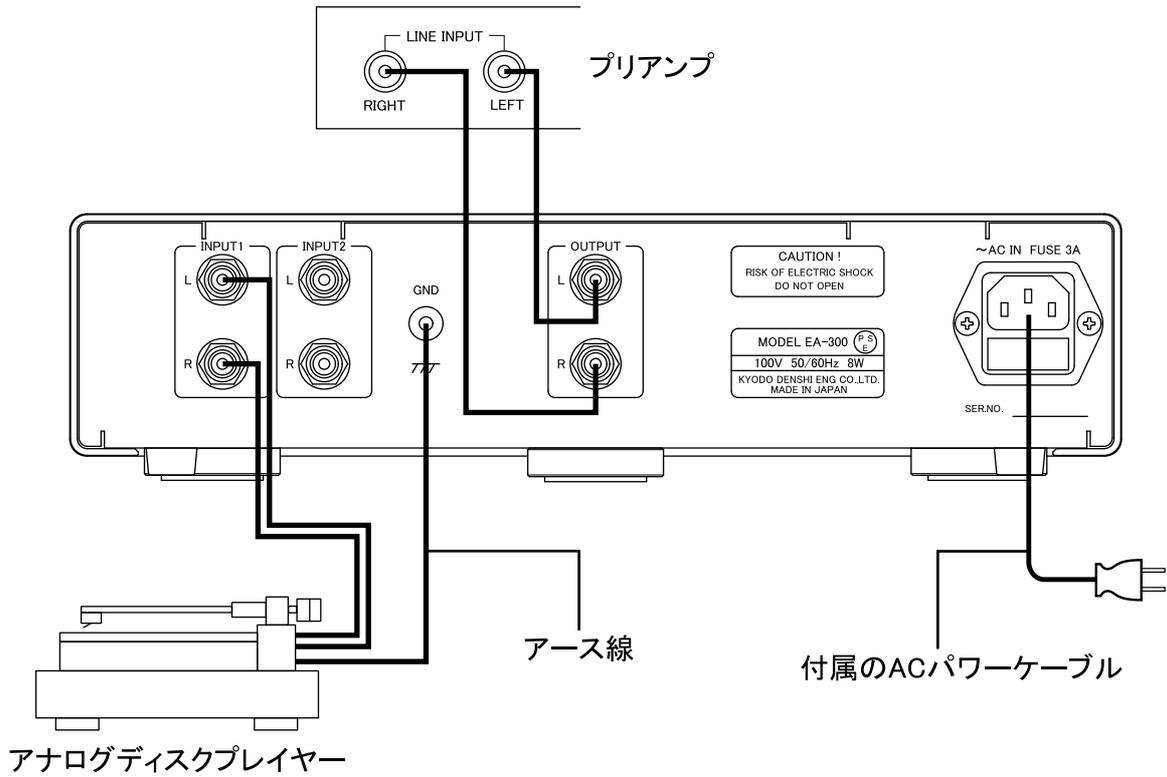
⑩ GND端子

アナログディスクプレイヤーからのアース線を接続します。

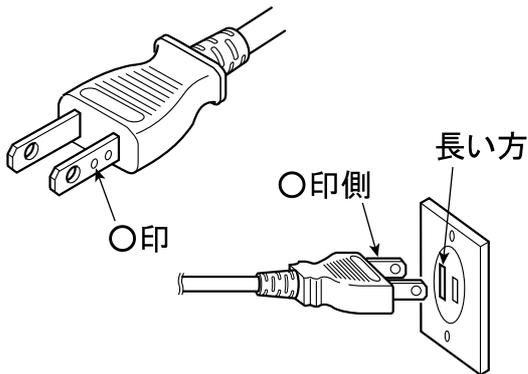
⑪ 電源インレット端子

付属のACパワーケーブルで電源コンセントに接続します。

接続



電源の接続



本機の電源プラグには、左図のように○印が片側に入っています。これは各機種の電源の極性を合わせ、より良い音質を得るためのものです。コンセントの屋内配線、及び電源事情により異なる場合がありますが、一般的にはコンセントの差し込み口の長い方に○印がくるようにします。

故障とお考えになる前に

本機が正常に動作しないときは、次の点をお調べください。

これらの点をチェックしても直らないときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げいただいたお店までご連絡ください。

症状	原因	処置
電源が入らない	●電源プラグの差し込みが不完全	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 ●ACパワーケーブルを本機の電源インレット端子にしっかり差し込んでください。
音が出ない	●シグナルワイヤの差し込みが不十分	●シグナルワイヤを確実に差し込んでください。
音がひずむ	●MMカートリッジを使用しているが、ファンクション切換スイッチがMCになっている。 ●本機の出力がプリアンプのフォノ入力端子に接続されている。	●ファンクション切換スイッチをMM位置にしてください。 ●プリアンプのラインレベル入力端子(AUX等)に接続してください。
ファンクション切換スイッチを操作するとクリック雑音が出る	●切換動作の原理により、ある程度のクリック音を生じます。	●本機の電源スイッチを切るか接続されているアンプの音量コントロールを絞り切ってから操作してください。
ブーンというハム音が出る	●シグナルワイヤの差し込みが不十分 ●アナログディスクプレイヤーとのアース線がはずれている。 ●近くに他の機器の電源トランスやモーターがある。	●シグナルワイヤを確実に差し込んでください。 ●アース線を確実に接続してください。 ●電源トランスやモーターから離して設置してください。
電源を入れてすぐに音が出ない	●内部回路が安定状態になるまで音は出ません。	●パワーインジケータが点滅を終え点灯状態になるまでお待ちください。

保証とアフターサービスについて

1. 本機には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの販売店でお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記載事項をご確認いただき、大切に保管してください。
2. 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。保証書の記載事項により、お買い上げ販売店が修理いたします。
3. 保証期間経過後の修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。
4. 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年間です。この期間は経済産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
5. 保証とアフターサービスについてご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製品仕様

形式	MM/MC 完全対称無帰還型フォノアンプ	
	MM	MC
入力感度	2.5mV	0.12mV
入力インピーダンス	47k Ω	470 Ω
利得	38dB	65dB
入力換算S/N比	-124dBV	-144dBV
最大許容入力	125mV	6mV
定格出力電圧	200mV(1kHz)	
RIAAカーブ偏差	± 0.3 dB(20Hz~20kHz)	
出力インピーダンス	100 Ω	
チャンネルセパレーション	100dB以上(20Hz~20kHz:MM/MC共)	
消費電力	10W(100VAC 50~60Hz)	
最大外形寸法(mm)	幅 310 X 高さ 79 X 奥行 335	
質量	5kg	

付属品：ACパワーケーブル

- 製品の仕様及び外観は、改善のために予告なく変更することがあります。

Phasemation

協同電子エンジニアリング株式会社
〒223-0058 神奈川県横浜市港北区新吉田東8-40-17

TEL 045-710-0975

FAX 045-710-0976

E-mail info@phasemation.jp

URL <http://phasemation.jp>

Phasemation は協同電子エンジニアリング株式会社のオーディオブランドです。